

東海理化、「EBC STATION Ai」で アルコール・インターロック体験モックの展示を開始

株式会社東海理化（本社：愛知県丹羽郡大口町、代表取締役社長：二之タ 裕美）は、新規事業の一環として開発したアルコール・インターロック体験モックの展示を、当社も入居している日本最大規模のオープンイノベーション拠点「STATION Ai」（愛知県名古屋市）内でソフトバンク株式会社が運営する法人顧客向け体験施設「EBC STATION Ai」にて開始しました。

本展示は、社会課題である飲酒運転防止への取り組みを紹介するとともに、最新技術を体験することで来訪者が自社の DX や業務改善のヒントを得られる機会を提供します。

【展示概要】

展示場所：EBC STATION Ai（愛知県名古屋市昭和区鶴舞）

展示内容：アルコール・インターロック体験モック

体験内容：

- ・アルコールチェックの実施体験
- ・基準値を超えるアルコールが検知された際にエンジンが始動しない仕組みのデモンストレーション
- ・スマートフォンで車両の施錠・解錠ができる「デジタルキー」の操作体験

※展示状況は予告なく変更になる可能性があります

※EBC は完全招待制の法人顧客向け施設です。詳細はソフトバンクの担当者へお問い合わせください。



アルコール・インターロック体験モック

【アルコール・インターロックに関するお問い合わせ先】

株式会社東海理化 Bqey 事務局

TEL：0587-95-0197

Email：digitalkey@info.tokai-rika.co.jp

【本リリースに関するお問い合わせ先】

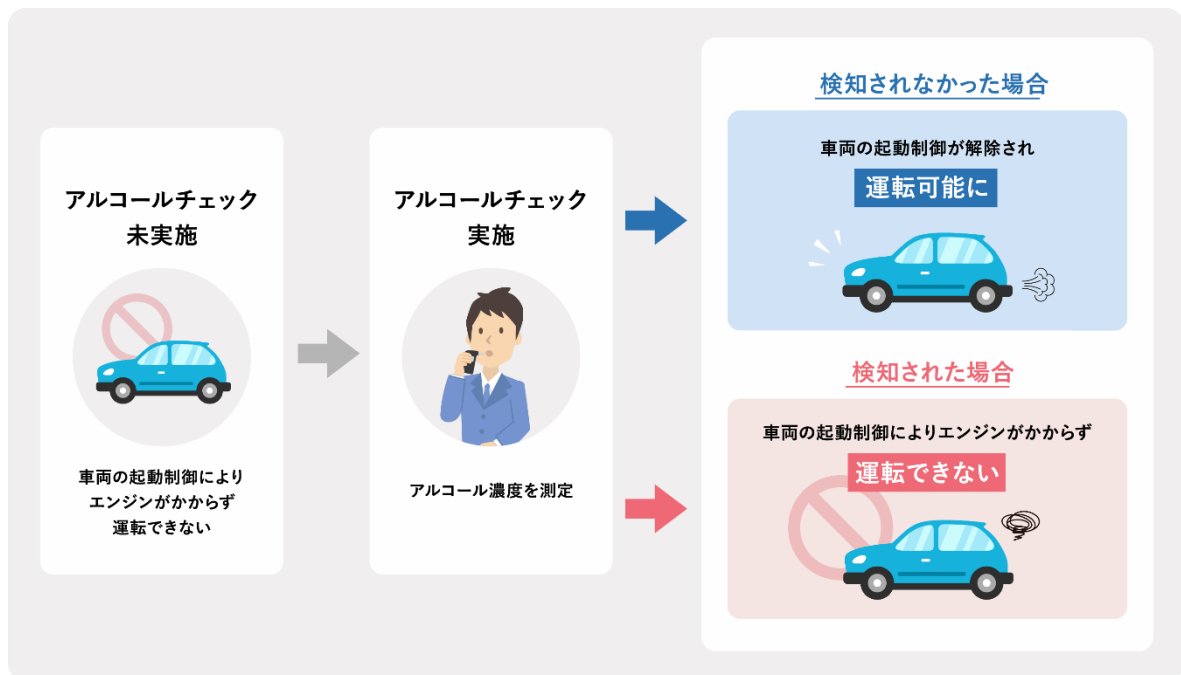
株式会社東海理化 総務部広報室

TEL：0587-95-5211

<参考>

【アルコール・インターロックとは】

アルコール・インターロックは、アルコールチェックが未実施の場合、または検査結果が基準値を超えた場合に車両の起動を制御し、エンジンがかからないようにするシステムです。



アルコール・インターロックによる飲んだらエンジンがかからない仕組み

国内では、飲酒運転防止のため一部の事業者にアルコールチェックが義務付けられています。しかしながら、検査の実施や記録の管理だけでは、基準値を超えるアルコールが検知された場合でも、物理的には運転者の自己判断により運転できてしまうという課題がありました。アルコール・インターロックは、検査結果を車両の起動システムと連携させ、アルコール検知時には物理的に車の運転を禁止することで、この課題を根本から解決し、飲酒運転の未然防止に寄与します。さらに、検査結果が運転可否に直結するため、アルコールチェックの確実な実施を促し、運用の形骸化を防ぐ仕組みとしても期待されています。

【当社発表の「アルコール・インターロック機能」提供開始リリースはこちら】

<https://www.tokai-rika.co.jp/release/file/20250120.pdf>

【当社発表の「STATION Ai」入居開始リリースはこちら】

<https://www.tokai-rika.co.jp/release/file/20241003.pdf>